【質疑応答】

≪外部専門家調査結果に係る対応について≫

読売新聞　冒頭の説明の３点目のところで，鋭意調査等進めていて，担当職員ないし教育長自身の処分についても，ということもありました。そういうふうに今言われたと思うんですけれども，実際の発表スケジュールといいますか，再発防止策も考えていきますということも前の会見でもあったんですが，そこの目安みたいなものがあれば教えていただけると幸いです。

教育長　目安でございますけれども，多岐に渡っておりまして，例えば改善の取組につきましても４点ほど挙げられるかと思います。まず，組織風土の改善に係る問題につきまして少し進捗状況をお話させていただきますと，現在，組織風土改善プロジェクトチームを設置いたしまして，様々な年齢や職種の職員で構成し，意見を出し合って外部の有識者の意見も取り入れながら，検討をしているところでございます。これは，早急に意見を取りまとめて改善に向けた取組を進めてまいりたいというふうに考えております。ただまだ〔外に向けて〕お出しできるような状態ではございません。それから２つ目に，公募型プロポーザルが十分に牽制機能を果たしたとは言えないという御指摘がありました。これについては議事録の整理や，選定委員の人選などの点について，関係部局とも連携しながら対応を検討しているところでございます。これも決まり次第お伝えしたいと思います。それから３点目でございますが，教育委員会による自律的な是正の機会を欠いていたという，弁護士の先生からの御指摘がございました。これについては，教育委員会から独立した外部の通報機関・窓口として弁護士の方にですね，対応を依頼できるよう調整をしているところでございまして，こちらについては近日中には開設して周知をしてまいりたいと思います。４点目の，職員に公正な契約手続に関する知識が十分に浸透していないこと，これの御指摘でございますが，これについては２つほどございまして，事業の初期段階から指導主事，それから事務職員がチームとして動くということを徹底させるということと，本庁職員を対象とした契約事務説明会を実施するということ，こういった対策を早急に講じてまいりたいと思います。それから，処分のことでございますけれども，冒頭でもちょっと申し上げましたとおり，12 月の県議会におきまして答弁いたしましたけれども，処分につきましては慎重に判断する必要がございまして，現時点で時期については申し上げられない段階です。申し訳ありません。それから，その他ということで，他の御指摘のありました事業者につきましては，これについては現在，速やかに結果をお示しできるようにメール等の資料を収集して確認を進めているところでございます。ただそれも，書類とかメールの量が大変膨大，何万枚以上のものがございまして，それからヒアリングを実施する関係職員も多いということで，現段階で具体的な時期を申し上げられませんけれども，今，鋭意やっておりますのでどこかで時期も含めてお伝えもしていきたいというふうに思っております。現状としては，今，時期も含めた改善策も含めたところでいうと，今申し上げたところが現状でございます。

読売新聞　追加で伺いたいんですけれども，先ほどの回答の中で，改善策の３つ目，県教〔育〕委〔員会〕から独立した通報窓口の設置ということなんですけれども，ここに関しては近日中に何らかの形で，もうほぼ形が出来ているという状態でいいんですかね。

教育長　形というか，御依頼先が「うん」と言われない限りあれなんですけれども，今進めているところでございます。

総務課長　外部の弁護士を考えておりまして，個別に顧問弁護士の方から紹介いただいた弁護士さ

んに今当たっているところで，もう少しほど調整をいたしますけれども，近日中にはなんとか開設をしたいと思っております。

読売新聞　有難うございます。ということは，改善策に関しては今随時進めていて，その中でも報告書に指摘があった県教〔育〕委〔員会〕自身の組織風土の改善，外部通報窓口等々指摘があったと思うんですけれども，それに対して個々でやっていく中で，その都度用意ができたものから発表していくみたいな流れになるということでいいんですかね。

教育長　はい。できる限り，できたものから発表していきたいと思っております。

中国新聞　今のお話に関連してなんですけれども，２点ありまして，まず組織風土の改善プロジェクトチームのことなんですけれども，だいたい何人規模でいつ設立されて何回ぐらい話し合いみたいなものをされていて，というのはありますか。

教育長　はい。ちょっとお答えできるところとできないところがございます。まず所属とか職種，性別及び年齢のバランスを考慮いたしまして，教育委員会事務局の職員から９名で構成しております。それから総務局の人事課から１名，計 10 名ですね。年末の…日にちはいつでしたっけ。

総務課長　〔12 月の〕27 日。

教育長　12 月の 27 日に開設をして，その後，ちょっと私が入らない方がいいので何度やるかとかその辺りは総務課長。

総務課長　随時，自由な意見を取り入れてということで，年末に一度，皆さんに趣旨をお伝えして，年明けにも一度集まってもらって，今，どういった課題があるのかというのをまず出し合っていると。そういった段階でございます。近いうちに項目立てといいますか，柱立て等については早めに洗い出しをして，年度内ぐらいを目途に進めていきたいというふうに思っております。

中国新聞　それは，中で話し合っているテーマとしては，組織風土の改善には何が課題で，どういう改善が必要かという話ですか。

総務課長　おっしゃる通りです。

中国新聞　それは，外部有識者の意見も取り入れてということですけど，年度内を目途に，何かひとつ報告書みたいなものを作られるということなんですか。

総務課長　報告書のようなものになるのか，もしくは「こういった形で進めていきます」というまとめたペーパーといいますか，何らかのものは作る必要があると思っておりますので，それを今，作成に向けて取り組んでいるということでございます。

中国新聞　それは作成されて，教育長に上申というか答申みたいなことをするんですか。

総務課長　具体にどういった形で出すかということについては，またあの検討の中でそこも含めて考えていくということになると思うんですけど，できれば当然公表していくということにはなろうかと思います。

中国新聞　分かりました。もう１点，先ほどおっしゃった，今，教育委員会の中でメールなどをチェックしている別の業者，これはだからキャリアリンクさんのことでいいんですかね。

総務課長　作業の話になるので私の方から話しますけれども，キャリアリンクの契約に係るメールですとか，あるいは契約の書類とか，そういったものを一式集めておりまして，もう一つ，赤木かん子さんに関わる案件についてもですね，あわせて資料を集めているという状況でございまして，今，集まったものから見ておりますけれども，今の段階では申し上げられるようなものはないということで，引き続き調査，かなり膨大な量でございますので，やっていきたいと思います。

中国新聞　その２件に関して，今，パンゲアさんの時みたいに外部の専門家に何か調査を依頼されたりということは現段階ではまだない〔ということですか〕。

総務課長　はい。今の段階でそういったものがまだ見つかっていないということでございます。

広島テレビ　組織風土の改善に関して，改善対策プロジェクトチームを作って今議論されているということなんですけれども，年度内にスタッフの方々が方向性を示していくということなんですが，それにあたりまして，外部の専門家から指摘を受けてですね，教育長としてどういった風通しのよい組織を目指していきたいかという意気込みとかを教えていただきたいと思います。

教育長　風通しのよい組織づくりのために，今回，職員の皆さん，年度末でお忙しいんですけれども集まっていただいて様々御意見をいただいております。これはまだ私もどんなお話し合いをされていらっしゃるとか，どういう形でとかということは一切私も分かりませんけれども，いただいた御意見につきましては真摯に受け止めて改善の方向に向けて，私自身も変わっていきたいなというふうに思っております。

中国新聞　先ほど〔話の〕あった，外部の弁護士に依頼した通報機関に関してなんですけれども，ざっくり時期でいうと県教〔育〕委〔員会〕として目指しているのは年度内の開設と理解してよいのでしょうか。

総務課長　年度内よりはですねもっと近日中と思っておりますけれども，専用のメールアドレスを設定したりとかそういった作業もあったりするので，少し時間をいただいているという状況でございます。

中国新聞　有難うございます。ここで想定される通報内容というか，どういう役割を果たしてもらう窓口を目指してらっしゃるのでしょうか。

総務課長　弁護士の調査で指摘をされているが，内部通報の窓口が教育委員会事務局内部の課長代理になっていると。そして２つ目のチャンネルがないという中で，通報しても取り上げてもらえないんじゃないかという思いが職員にあったんではないかというふうなことを言われておりますので，第三者的な位置付けの弁護士さんに，いつでもここに話せば話が通るよというところで設けるというふうに考えておりますので，中でなかなか話がしにくいところがそこでは出しやすくなるというふうに思っておりまして，そのためにはしっかり職員間に周知を図っていく必要がありますので，それを早期にやっていきたいと思います。

中国新聞　分かりました。先ほどおっしゃったここに話せば話が通るというのは，一部署で何か話が一回途切れるとかいうことではなくて，ちゃんと管理職に話や意見が通るという意味〔ですか〕。

総務課長　実際には総務課の課長代理の窓口に来ても，当然そこで話を通さないというのはあり得ないので通るんですけれども，職員にとっての期待値が，やはり中ではだめなんじゃないかというふうに思ってしまうということが指摘の大きな意味だと思っておりますので，そういう意味では完全に外部の窓口を設けましたということに大きな意味があるかなというふうに思っています。

中国新聞　改善の取組で職員の研修という項目がひとつあったと思うんですけれども，これは研修や説明会を開くというのは，要は来年度，予算を付けてこういうことをやっていくということですか。

教育長　契約手続に関する知識の浸透ということでございますか。

中国新聞　はい，そうです。

総務課長　事務的な話なので私の方から。内部の職員が契約について研修をする，あるいは外部の講師を呼ぶということもあり得ると思っておりますけれども，来年度の予算については今まだ予算要求の作業段階なので申し上げるのは控えたいと思いますけれども，内部的な研修はすぐにでもできると思っておりまして，来年度の契約というのも，もう年度内に始まりますので，基本的にはまず年度内には少なし１回はそういった研修はやっておきたいと

いうふうには思っております。来年度どういった形でやるかということについては，今ちょっと検討をしているところということでございます。

中国新聞　あともうひとつすいません。〔組織風土改善〕プロジェクトチームを結成するっていう話に関してなんですけど，外部有識者の意見を聞くというのは，これはどういった有識者を想定してらっしゃるんでしょうか。どういう分野の専門家〔なのでしょうか〕。

総務課長　組織風土に関わって，組織づくりとかそういった大学の先生とかおられますので，そういった方々から話を聞くというイメージですけれども，既に県外の大学の先生にちょっとお話を聞いたりということも，今しております。

≪医療的ケアが必要な児童生徒について≫

読売新聞　今，県内の県立の特別支援学校の中で人工呼吸器等をしているお子さんも一定数おられると思うんですけれども，そういったお子さんの多くが訪問籍になっている現状等あると思うんですけれども，なかなか学校に通いたくても通えないという子に対しての支援というのは，12 月議会の中でも送迎支援等どうですかみたいな御質問もあったかと思うんですけれども，教育長としてそこへの来年度のアプローチとか，ないしはそういう状況を変えていくようにしっかりサポートしていきたいとか，現状考えておられることがあれば回答できる範囲で教えていただきたいんですけどよろしいでしょうか。

教育長　いわゆる医療的ケアが必要なお子さん方という認識でよろしいでしょうか。

読売新聞　はい。

教育長　12 月議会の答弁から大きくは，ちょっと 12 月の１月なので進展はしておりませんけれども，何らか改善をしていきたいというふうに思っておりまして，来年度，今手元に数字がないんですけれども，改善していく計画はしております。医療的ケアのお子様もそうでないお子様も，右肩上がりに全ての子供たちが成長していくということを目指しておりますので，ちょっと今数字とかはお答えできませんけれども，とにかく改善を図っていく計画がございます。ちょっと詳しくは担当課である特別支援教育課の職員が来ておりませんけれども，もし必要であれば計画をお問い合わせいただきたいと思います。〔秘書〕広報〔室〕の方で受けられますか。

秘書広報室長　教育長からありましたように，今この場に〔担当課が〕いないので，私からもちょっと〔説明が〕難しいので，また後ほど，すいません。

読売新聞　学校で勉強したいという子に対しては，教育委員会としても何らかのサポート等は来年度していけるように検討しているということでいいんでしょうか。

教育長　そうです。まずはどうやって車の確保ができるかということと，看護師の確保というところがあると思いますので，どの程度，どういう形でできるかというところだと思います。地域性もあると思いますし，地域によってできることとできないこともあるでしょうし，あとはやはり安全面ですね。色々な問題があると思いますけれども，とにかく前へ進めていきたいと思っております。

≪高校入試について≫

中国新聞　高校入試に関しての質問です。新しい形での高校入試がいよいよ始まるんですけれども，その中のひとつの目玉が，内申書の簡素化と学力テストとの比率の見直しというところが大きな柱のひとつだと思っています。内申書の簡素化や比率の見直しっていうことを行った背景に，以前教育長も「内申点があるから子供たちが自分をちょっといい子に見せなきゃいけない」とか，「先生に反発しないようにしよう」といったような生徒の心理的な負担というのがあるのではないかという問題意識をお持ちだったと思うんですけれども，実

際に内申書の簡素化と比率を見直すことが，中学校生徒の心理的な負担にどういうふうにいい影響とか，何かしら効果があったかとかというようなことを何か検証するような御予定はあるんでしょうかという質問です。

教 育 長　現段階で，内申点の簡素化ではなくて内申書，いわゆる調査書の文書の記述の部分ですね，そこの部分を申し上げております。ちょっとこれはどこの局とは申し上げられないんですけれども，具体的な中学校３年生のお子さんにインタビューをしたものとか，あるいは先日も，ある学校の高校生が教育長室訪問に来てくださって，それは中学校と高〔等学〕校と一緒に来て下さったんですけれども，中〔学校〕３〔年生〕のお子さんに実際自己表現どうですかと言ったら，みんな一生懸命練習していますと。結構，今の段階でもちろん色々なお子さんがいらっしゃるので，全てのお子さんに聞いたわけではございませんけれども，この自己表現をやることによって自分が一体将来どうしたいのかとか，あるいは今まで自分への見方がどちらかというとマイナスで，「私こんなこともできない」とか「あんなこともできない」とか思っていたんだけれども，そうではなくて「こんないいところもあるじゃん」というふうに前向きに捉えられるようになりましたというふうなことも伺っております。もちろんそれを表現することが苦手なお子さんもいますが，苦手なお子さんはパソコン使ったり自分がなるべく喋らない方法でやろうと思ったらできますし，何度も色々な説明で申し上げておりますけれども，上手い・下手ではないというふうに思っております。数少ないんですけれども，そういった中でいうと，一定数どちらにしても大人になる時にというか就〔職〕活〔動〕の時に自分を表現していかなければいけない場面というのは将来出てくるでしょうから，それが中学校の，この義務教育を終わる 15〔歳〕の春に身に付けるという力の中で，自分を表現する力を付けさせたいと。ここです。もちろん二次的・三次的なものでは，小学校のときは結構クリティカルに先生に色々言っていた子供が，中学校の時に言えなくなっちゃうのではないかとか色々な想定はございましたけれども，むしろそこよりも 15 歳の春に身に付けさせたいことが「自分は何者か」という自己認識があって自己開示があって，その次に自己表現があるんだと。その次に自己実現があるっていう，この４段階のものの中で自己表現というところまで身に付けられているんだっていうふうにしたい。見ておりますと，もちろん色々なお子さんがいらっしゃるんですけれども，上手い・下手ではなくて自分への理解が比較的上手くいけばいいなと思っております。そういう意味で前向きに取り組んでいただいているのであれば，すごく嬉しいというふうに思っております。今回の内申書の変更に関しては，そこが趣旨でございます。

中国新聞　内申書と自己表現の関係というのはあると思うんですけれども，内申書の比率を下げた，学力テストと〔内申書が〕今まではほぼ同等，むしろ内申書の比重が多かったということにより，中学生生活で内申書の先生の評価を気にして，学校生活を１年生の段階から過剰に送らざるを得ないというような課題があったっていう指摘が元々あったと思うんですけれども，それへの改善策として，比率の見直しとかボランティア活動とかそういうことはそこには書かないということになったと思うんですけれども，そのことが生徒の心理的な負担にいい影響というか，何か効果があったのかということを県教〔育〕委〔員会〕として検証したりする御予定があるのかなという質問だったんですが。

教 育 長　この検証はどういうふうにしたらいいのでしょうかね。そこよりもむしろ，入試，これからですから，自己表現をしていく中でどんな自己表現が出て，もちろん１年目・２年目・３年目とやっていくうちに色々なことが分かってくると思いますし，子供自身も準備していくと。今，小学校の時とかあるいは幼稚園・保育園のお母様方も，自己表現があるからやっぱり自分で何を考えてどう思うのかということを，何らかの方法で表現できる子供に

育てたい，あるいはそういう児童に育てたいというふうなことを，授業なんか見ておりましても先生ばっかりが喋るのでなくて，児童が必ず発言する機会を，学校を伺わせていただいても最近すごく多くやっていただいているなと感謝しておりますし，そういう機会を，とにかく場数を踏んでですね，中〔学校〕３〔年生〕の入試に，入試のためだけにやっているわけではなくて，それはその次につながる将来ということで思っておりますので，何かその窮屈な思いをするというその子の将来のために考えていることを表現するというふうに思っております。これは別に中学校で終わるわけではなくて，例えば，今，商業のアップデート元年やって３年目になりますけれども，ある商業高〔等学〕校のお子さんなんかは，それまで大学に行きたいといったときに，じゃあ論文を書いてと言われても，論文なんか書けないと言っていた子が，３年間自己表現というか探究をやっていると，「分かりました，書きます。」とパッっと書いて。実はまだちょっとこれは数としては表に出せませんけれども，結果として大学にチャレンジする子が増えていったりしております。大学に行ったからいいとか悪いとかではなくてそういったチャンスを，前髪の神様はすぐに逃げてしまうという言葉もございますけれども，掴み取ることができると。その力を付けているということの方が私は重要だと思っております。

≪外部専門家調査結果に係る対応について（続き）≫

中国新聞　また契約の話に戻って恐縮なんですけれども，12 月の定例会見の際にですねキャリアリンクさんとかパンゲアさんとか赤木かん子さんとか以外の契約も含めて，幅広く契約の調査をされたいというお話だったと思うんですけれども，この調査の件は進捗などはいかがでしょうか。

総務課長　先ほど申し上げたように，キャリアリンクと赤木かん子さんに係るものを今集めて調査をしていると。その他の契約を全部見るのかというと，これは多分全部見るのは不可能だと思いますので，これはどういった形で来年度契約をしていくかというところで，どういうチェックをしていくかということが大事かなと。今の，まずはキャリアリンクの契約，あるいは赤木かん子さんとの支払い関係ですね，これを見ていく中で仮に他〔の契約〕も見ないといけないとかそういう判断の必要が生じれば，それは改めて〔調査〕する必要があるかと思うんですけれども，まずは先ほどの，実際に報告書でも名前が挙げられているところでですね，赤木かん子さんの部分とキャリアリンクを今まず調査しているという状況でございます。

中国新聞　キャリアリンクと赤木かん子さんの問題を調査される中で，他の事業者についてもちょっと調べる必要があるなというシチュエーションがあり得るものなんでしょうか。

総務課長　いえ，そういうことがあれば，調査をすることもあるということだと思っています。

中国新聞　先ほどおっしゃった来年度の契約に向けてということなんですけど，来年度恐らくここと契約するであろうという業者を，一回，そこに関しては過去の契約を探っておこうかということですか。

総務課長　契約を来年度しようと思ったときに，去年と全く同じやり方でいいかどうかというのは一通り確認がいると思っておりまして，それをどういった形で確認していくかということはちょっと今検討しております。